

第23回東京23区とことん討論会  
参加申込書

(ふりがな)	
お名前	
ご住所 (会社の住所であれば、会社名、役所の場合は担当課までご記入ください)	〒
電話・FAX	
所属区分 (○をつけてください)	市民・ 事業者・ 行政
参加希望分科会	1.            2.            3
資料代	一般(1000円)
	学 生(500円)
報告書希望	する (800円) しない

★報告書は後日、希望された方に郵送します。

☆会場の都合で、希望の分科会に入れない場合もありますので、事前のお申込みをお願いします。

・資料代、報告書の費用は、受付時にお受けします。

・申込はFAX・Eメール、郵送をお願いします。

ぜひご参加ください。

どなたでも参加できます！  
当日参加も歓迎！

〈資料代〉 一般1000円 学生500円  
〈報告書〉 800円(希望者)\* 郵送費含む

(問い合わせ)

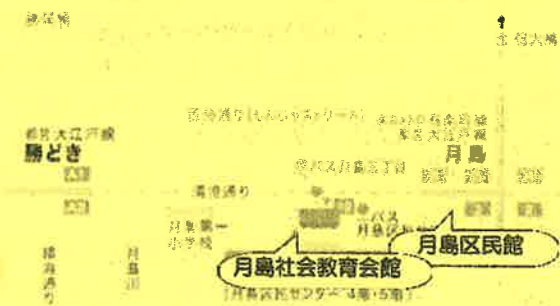
東京23区とことん討論会実行委員会事務局

〒176-0022 練馬区向山3-9-32

TEL・fax : 03 - 3970 - 0903

E - mail : tokoton23@jcom.home.ne.jp

会 場：月島社会教育会館（メイン会場）・月島4-1-1  
月島区民館（一部分科会会場）・月島2-8-11



【月島社会教育会館への交通】

- ・東京メトロ有楽町線・都営大江戸線『月島駅』10番 徒歩1分
- ・都バス「業10とうきょうスカイツリー駅前-新橋」  
「東16東京駅八重洲口-東京ビックサイト」  
「門33亀戸駅前-豊海水産埠頭」『月島三丁目』徒歩1分
- ・中央区コミュニティバス(江戸バス)南循環13番  
『月島区民センター』 徒歩1分

社会教育会館で受付をお願いします

第23回

東京23区とことん討論会

23区発!ごみゼロへのビジョン  
燃やすから、燃やさないへ!



区民・事業者・行政が  
ともに集い、ともに語り、実践に向けて  
歩みだしましょう。  
ぜひご参加ください。

日時：2018年7月24日(火)

会場：月島社会教育会館

主催：第23回東京23区とことん討論会実行委員会

後援：東京都・特別区長会・中央区・

中央区消費者友の会

## もう一度考えよう! 資源のこと

### 《開催の趣旨》

第23回「東京23区とことん討論会」は、中央区で開催します。

第1回とことん討論会が開催されたのは、代々木の国立青少年育成センターで、そこは1964年の東京オリンピック選手村を再活用した青少年育成施設でした。月日は巡り、2020年には再び東京オリンピックが開催され、その選手村が中央区に設置されます。

中央区は23区のほぼ中央に位置し、区内には日本橋・八重洲・築地・月島・晴海・銀座等といった世界に名立たる街があり、現在、ウォーターフロントの開発により、若い人口が増えつつあります。また、終戦直後まで運河と水運の町、日本のヴェニスとも言われ、今後この河川を復活させることが目標のひとつとも言われています。

23年前のとことん討論会は、増え続ける「ごみ問題」が大きなテーマでした。増えるごみ処理に必要な清掃工場の増設、埋立て最終処分場等の問題が身近にありました。そして資源の枯渇も問題となり、「もったいない」「リサイクル」に注目が集まりましたが、その陰で目には見えない、有害物質である環境ホルモン、ダイオキシン、PCB、また、地球温暖化、マイクロプラスチックによる海洋汚染等の問題が進んでいました。

現在は、ごみ問題だけを語るのではなく、環境全般に目を配らなければならないのです。そこで、基調講演は「海、川のマイクロプラスチックの汚染」をテーマとし、更に第2分科会でこの問題を掘り下げ、回収手法としてデポジットの有効性も検証します。また、第1分科会では中央区で幅広く環境問題に取り組むそれぞれ特徴ある団体の発表と共に、環境団体の抱える課題や「ある、ある」を共有します。第3分科会は一貫して多くの問題の根源となる「ごみの削減」について、23区の最終処分場の状況を知りながら、ごみ削減を実現しつつある自治体の取り組みを聞き、市民ができること、行政がすべきことを討論します。

今年も熱く「とことん討論会」を開催します。

### 《プログラム》

9:15 受付	12:00 昼食
9:45 開会	13:00 分科会開始
挨拶	16:45 分科会終了
10:00 基調講演	17:00 全体会
11:45 インフォメーション	18:00 終了

### 《分科会テーマと内容》

第一分科会	<p><b>知り合う、学び合う、助け合う 「センターサークル」</b></p> <p>—中央区の環境団体と交流しよう!— 中央区立環境情報センターには37におよぶ各種環境活動団体が登録されています。この中で一緒に活動する思いを持った仲間が集まったのがセンターサークルです。私達の活動を紹介し、活動の輪を広げたいと思います。</p>
第二分科会	<p><b>世界の環境問題!</b></p> <p><b>マイクロプラスチック汚染対策へ</b></p> <p>海ごみの8割は、私たちの生活域から川に入り、海へと運ばれたものです。劣化して細くなったマイクロプラスチックは、海中の有害物質(PCB等)と一緒に魚の体内に取り込まれます。世界が喫緊の課題として対策に取り組む中、日本はほとんど対策がなされていません。将来を見据えて、今どう行動すべきか、国、事業者と共にとことん討論しましょう。</p>
第三分科会	<p><b>あとがない! 最終処分場</b></p> <p>~焼却ごみの削減で埋立て量ゼロに!~ 23区のごみの搬入量計画と、新海面処分場の管理は東京都が行っていますが、搬入量オーバーが続き、残余年数が7年も短くなりました。一方、八王子市では「埋立て処分量ゼロ」を掲げごみ量を減らし、劇的に埋立て処分量を削減しています。23区もごみ量を削減し、埋立て処分量ゼロのためにできることは何?!</p>

### 《基調講演》

## 海・川のプラスチック汚染の今、 現状と対策

講師：原田 禎夫 大阪商業大学准教授

【プロフィール】総合経営学部で河川環境保全を研究。NPO 法人プロジェクト保津川で環境保全にも取り組み、NHK『クローズアップ現代 (5/9)』に出演。

【内容】調査を進めていくと、やっかいな海ごみのほとんどが市街地の川から運び込まれていることがわかってきました。これ以上海ごみを増やさないため、経済的に成り立つ仕組みとその解決手法をエスプリの効いた小気味よさでお話いただきます。

### 《分科会アドバイザー》(予定を含む)

第一分科会	<p>NPO 法人地中熱利用促進協会 【再生可能エネルギー】 (一社)まちふね みらい塾 【親水空間、都市環境、街のにぎわい】</p> <p>NPO 法人循環型社会研究会 【サステナビリティ、SDGs】 (一社)エコまちフォーラム 【エコなまちづくり】</p>
第二分科会	<p>原田 禎夫 大阪商業大学総合経営学部准教授</p> <p>井上 雄祐 環境省企画課リサイクル推進室室長補佐</p> <p>柴田 充 コカ・コーラ(株)労働安全衛生・環境サステナビリティガバナンス部長</p> <p>伊藤 浩子 全国川ごみネットワーク事務局長</p> <p>金丸 治子 イオン(株)グループ環境・社会貢献部長</p>
第三分科会	<p>宮田 博之 東京都環境局資源循環推進部埋立調整担当課長</p> <p>木下 博文 八王子市役所環境部ごみ減量対策課長</p> <p>井上 一 豊島区環境清掃部ごみ減量推進課長・東京二十三区清掃一部事務組合主管課長</p> <p>石井 操 中央区中央清掃事務所長</p> <p>佐々木 正 東京二十三区清掃一部事務組合総務部企画室長</p>